第 57回 東京農業大学校友会広島県支部総会

第 57 回支部総会は、平成 29 年 8 月 27 日(日)・広島市のTKPガーデンシティPREMIUM広島駅前で、校友 44 名(広島分会 24 名・呉 4 名・三原 6 名・福山 4 名・三次 6 名)出席をえて開催しました。

総会には、校友会本部から小野甲二常任理事(兼)事務局長(昭47年経)・大学から江口文陽教授(地域環境科学部森林総合科学科・「食と農」の博物館館長・平5年院林博)のご臨席をいただきました。

総会に先立ち、東京農大公開講演会を開催し、県央の町・東広島市福富町の上田敏英さん(昭62年畜)による「六次産業型事業の展開」と題したご講演をいただきました。

上田さんは農大卒業後、家業である酪農経営をされていた兄の死去を受け、引き継がれ、試行錯誤しながら現在の地位を築かれました。

現在、上の原牧場・(有)カドーレの代表として、若い頃からご夫婦で、何ができるかを見据えて、あらゆる分野へ挑戦し続けて、結果として六次産業型になったとの貴重なお話をいただきました。

このように、前向きに取り組まれたことで、今日があるのではないかと感動しました。この思いを忘れず頑張ってください、更なるご発展を祈念いたします。

この公開講演会は、地元で頑張っている校友の方にご講演をいただくことで、ご自身の更なる発展と校友の皆さんに農大OBの方が頑張っていることの再確認に繋がるよう願ってのことです。

講演会后、出席された皆さんとの記念撮影とあいなりました。

総会に移り、竹重博樹支部長(昭44年農)の挨拶に続き、来賓としてお招きした江口教授(平5年院林博)から大学の近況報告、校友会小野甲二常任理事(昭47年経)から校友会の現状と在り方について、ご挨拶をいただきました。

校友から、毎正月の国民的行事である箱根駅伝への選手強化や獲得並びに陸上競技部の寮の設備改善や食生活の充実について、強い要求がありました。

その後、議案として提案した前年度の活動報告及び収支決算(案)・会計監査報告。平成 29 年度活動方針及び収支予算(案)について、承認をいただきました。

最後に、石井耕二(昭44年醸)福山分会長の閉会挨拶で、総会を終えることができました。

その後、懇親会に移り、在学時代やその後の活動等、昔話に花が咲き、それぞれ旧交を温めました。

来年度の総会は、三次分会での開催を確認し、八谷文策顧問(昭41年林)をリーダーに「青山ほとり」・「学歌」を斉唱し「東京農大ここにあり」をアピールして散会しました。

今年は、試みとして、平成10年以降卒業並びに女性の校友は、参加費 3,000 円として
取組み、結果として10名程度の参加となりました。このような取組で若い校友の皆さ
んの参加を得て、校友会の更なる活性化に繋がれば良いのではと思います。

校友の大部分の方に、校友会活動にご理解をいただき、色々な場面での、ご協力を
切にお願いします。

【副支部長 長原 毅(昭41年農)】